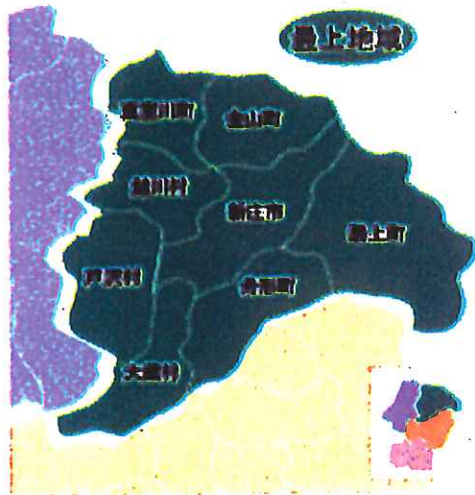


## 最上保健所管内における 新型コロナウイルス感染症第一波の経験と 今後の課題



最上総合支庁医療監(兼)最上保健所長  
鈴木 恵美子

## 感染拡大の原因

- 新型コロナウイルスの**潜伏期**は**1～14日間**であり、**曝露から5日程度**で発症することが多い(WHO)。
- **発症前から感染性**があり、**発症から間もない時期の感染性が高い**ことが**市中感染の原因**となっている。
- **感染可能期間**は**発症2日前から発症後7～10日間程度**と考えられている。
- 感染者の**8割は無症状～軽症**で、**気付かず**にあるいは**このくらいなら大丈夫**と考え**普段の生活**を続け、多くの**人との接触**するため、**感染が拡大しやすい**。

これらが、季節性のインフルエンザ、ノロウイルス胃腸炎、さらには、SARSやMERSといった近年の新興感染症と異なる特徴であり、厄介なところ。

**『PCR検査を受けて陰性を確認してもらおうとかえって感染を拡大させる!』**

「〇△※～◎だから、PCR検査を受けて陰性でないと出勤できないと職場から言われた。」

「コロナじゃない証明書がないと出勤できない。」

「住民全員を徹底的にPCR検査をするべきだ。」

こういった電話相談やご意見をたくさんお受けします。ご不安な気持ちは、とてもわかります。

ですが、**陰性を証明するためのPCR検査**は原則行っておらず、『**陰性の証明書**』も存在しません。

(**症状と暴露歴**で判断します。)

PCR検査ではウイルスが**十分増えていない**と検出できませんので、暴露した**かもしれない直後**に行っても**空振り**になり、本当はその後感染がわかったと仮定して、**陰性だと自信**を持って**出歩けば、感染拡大**につながりかねません。

PCR検査という検査の性質上、**陰性を陽性と判断することはめったにない(特異度が高い)もの**、**陽性を陰性と判断してしまうことは結構あります(感度は高くない)**。

文献やデータから、**30～50%は偽陰性**、つまり本当は陽性なのに見つけれられないのです。

一般に若くて基礎疾患もない人は、感染しても無症状かごく軽症程症のことが多いと言われます。**無症状の感染者**が、上のような理由でPCR検査を受け、**陰性の結果**をもらい、**安心**して防護をせずに通勤し、友人と飲食をともにし、カラオケに寄って、満員電車で家に帰る。

こうして、**経路不明の感染が拡大**していきます。本人は発症せず、**気づかない**かもしれません。